



オンライン併用での意見交換（Zoom画面）

## 第19回都市計画行政における官学連携研究会

今回の官学連携研究会では、「まちづくり（都市計画）におけるDXは定着するのか？」をテーマとして、会場とオンライン併用にて開催した。愛知県内の行政担当者をはじめ参加者は57名（オンライン43名）であった。まず「都市計画分野におけるDXの潮流～サステナブルなデータドリブンのまちづくりに向けて～」と題して、東京大学空間情報科学研究センター教授の関本義秀氏に、次に浜松市デジタル・スマートシティ推進事業本部専門監の瀧本陽一氏より「浜松市のデジタル・スマートシティの取組～国土縮図型都市・浜松の挑戦～」と題し、DXの取組事例をご紹介いただき、その後、名城大学教授の鈴木温氏（行政連携委員会委員）のコーディネートで意見交換が行われた。3D都市モデルの活用方法や、DXの推進に向けた課題などについて活発な議論がなされた。

### 【報告者】

大同大学 工学部 嶋田喜昭